

日本心理学会第67回大会案内

(第1号通信)

2002年12月

ご挨拶

日本心理学会第67回大会を、平成15年9月13日(土)から15日(月)までの3日間、東京大学本郷キャンパスで開催いたします。大会の概要、発表、参加の申し込みの方法などをお知らせするための第1号通信をお届けします。

東京大学(当時の東京帝国大学文科大学)に、元良勇次郎教授によって精神物理学実験場が開設されましたのが1903年、来年はその100周年を祝う年であります。また本学において、心理学が哲学科心理学専修として独自の卒業論文規定を作った年、つまり、東京大学のみならず、日本において、心理学が独立したディシプリンとして旗揚げしたのが1904年。来年はそれからちょうど100年目の年にも当たります。

元良教授による実験心理学実験場は、本郷キャンパス、現在の安田講堂の裏手あたりに建てられていました。当時のキャンパスはほとんどすべてが大震災によって失われており、現在では当時の様子を伺い知るよすがもありませんが、こうした記念すべき年に、また、その建物とほど近い場所で日本心理学会の大会を開催し、皆様と共に日本の心理学の歴史を顧み、その現在、未来を考え、論じ合えることは、本学教官一同にとっておおきな喜びです。東京ではあまり、ご当地自慢ができませんので、もう少し歴史に触れさせていただきますと、1903年の精神物理学実験場の開設は、1879年のヴントによるライプツィヒ大学における世界最初の心理学実験室の開設、1888年のジョーンズホプキンス大学における米国最初の心理学研究室の開設からそれほど大きく後れたものではありません。また元良教授による最初の精神物理学の講義は実験場開設を遡ること4年、1889年に行われております。日本の心理学もけっこうがんばったな、というところです。

現在ほど、心理学への期待が高まっている時代はありません。それと同時に、現在、日本の心理学は資格の問題をはじめ、教育、研究者養成などの制度上の多くの問題を抱えております。もちろん、学会の大会の第一の目的は最新の研究成果を発表し、それについて議論をつくすことです。その面で意義のある大会にしたいというのは我々の最大の望みですし、そのために様々な工夫をこらしていきたいと思っています。その上で、上記のような心理学の抱える問題、心理学全体の将来像についても多くの議論を交わせる場にしていきたいと考えております。そのために、研究発表のあり方、ワークショップ、シンポジウムなどの企画など準備委員会のメンバーで無い知恵を出し合っております。まだ間に合います。皆様方からも多くの建設的な意見をお寄せいただければ幸いです。

東京大学は本郷、駒場、柏など複数のキャンパスがあり、心理系の学科、専攻も多くのキャンパス、部局に分散しています。委員長の私自身が所属する人文社会系研究科・文学部の心理学研究室には6名のスタッフしかおりません。しかし、本学には人文社会系の社会心理学、教育学研究科、総合文化研究科(駒場キャンパス)、社会情報研究所、学際情報学環、医学系研究科などさまざまな部局に、総勢30名以上の心理学関係者が所属しています。今回の大会の開催に当たっては、組織の壁を越えた東京大学の心理系のパワーを結集して準備を進めています。

まだまだ準備があまり進んでいない状況ですが、楽しい大会、参加してよかったと思われる大会にしたいと一同、知恵を絞っているところです。専用ホームページを開設し、大会に関する情報は、逐次お知らせする予定です。多くの会員の皆様の参加、発表を心からお待ちしております。

日本心理学会第67回大会準備委員長
東京大学人文社会系研究科
佐藤 隆夫

第1号通信には、この案内とともに、参加申込書などの2連カード、返信用封筒、払込取扱票、第2号通信用宛名シールを同封してあります。

【1】会期・会場

1. 会期：2003年(平成15年) 9月13日(土), 14日(日), 15日(月)
2. 会場：東京大学本郷キャンパス
(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL 03-5841-3861 (文学部心理学研究室))

【2】行事

1. 研究発表, 特別講演, シンポジウム, 小講演, ワークショップ
2. 理事会, 会員集会, 優秀論文賞授与式, および懇親会

【3】研究発表の要領

1. 研究発表の形式：研究発表はポスター発表のみで行います。
(発表の部門については、同封の発表申込カードをご参照ください)
ポスター発表では、当該セッション中ポスターを掲示し、それをもとに発表者と質問者とは個別に討論していただきます。1セッション2時間(予定)で、在席責任時間は60分です。
2. 発表の要件：「大会発表論文集への論文掲載」と「ポスター発表」の2条件を満たすことにより公式発表と認められます。
3. 発表者の資格：研究発表者と連名発表者は、それぞれ下記の要件を満たしていることが必要です。なお、研究発表者は、連名発表者の発表資格要件についてもご確認ください。

(1) 研究発表者

- a. 2003年1月31日(金)現在および大会当日、(社)日本心理学会会員であること。
(現在未入会の方がこの要件を満たすためには、2003年1月20日(月)までに(社)日本心理学会に入会を申し込み、入会審査を受けることが必要です)
ただし、2003年3月大学卒業予定者は、下記の要件を満たせば、「研究発表者」になることができます。
- イ) 正会員が連名発表者となること。このために、発表申込書の追加が必要な場合には、(財)日本学会事務センターまでご連絡ください。
- ロ) 論文集原稿提出時には正会員として認められていること。このためには、在学中の2003年1月31日(金)までに、(社)日本心理学会に入会申し込みをすることが必要です。なお、入会申し込みの際、発表予定の旨付記してください。
- b. 2003年度の年度会費を2003年3月31日(月)までに納入していること。
- c. 「発表申込書」を1月31日(金)、「発表論文集原稿」を3月31日(月)までに送付済みであること。当日消印有効。
- d. 「大会参加費」、「写真掲載料(該当者のみ)」を2003年3月31日(月)までに納入していること。

* 研究発表者となるのは、大会期間中1回に限ります。ただし、シンポジウム、小講演、ワークショップでの発表はこの限りではありません。

(2) 連名発表者

- a. 当該発表について、研究発表者と共同で研究した者であること。
- b. 原則として大会に出席し、当該の研究発表および討論に参加すること。

- c. 前記(1)のa. b. d. 項を満たすこと。
- d. 非会員の連名発表者は、研究発表者を通して、2003年1月31日(金)までに書面(書式は表1)にて(財)日本学会事務センターへ発表申し込みをすること。また、2003年3月31日(月)までに、研究発表者が一括して「連名発表費」(1人10,000円)を納入していること。
- e. 非会員の連名発表者が大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。
- f. 学部学生は非会員連名発表者にはなりません。

表1 非会員連名発表申込書

日本心理学会第67回大会 非会員連名発表申込書	
非会員連名発表者氏名	
ローマ字	姓 名
所属・職	
大会プログラム送付先:	
(〒)	
電話	
FAX	
e-mail address	
最終学歴(年)および学位	
所属学会	
関連の研究業績	
研究発表者氏名	
ローマ字	姓 名

【4】特別講演

本大会では、特別講演を企画しております。詳しくは、第3号通信(プログラム)でお知らせします。

【5】シンポジウム

本大会では、シンポジウムを企画しております。詳しくは、第3号通信(プログラム)でお知らせします。

【6】小講演

10名ほどの方に約1時間の講演をお願いする予定です。内容の詳細は第3号通信(プログラム)でお知らせします。適任な講演者(正会員に限る)を幅広くご推薦ください。推薦者は、ご自身および講演者の氏名、所属、連絡先住所、電話番号、e-mail addressと題目、簡単な内容(400字程度)を、2003年1月31日(金)までに大会準備委員会宛にご送付ください。結果は2月下旬にご連絡します。

【7】ワークショップ

会員諸氏に自主的にテーマ設定,企画,運営を行っていただくものです。時間は2時間(予定)です。代表責任者(正会員)の氏名,所属,連絡先住所,電話番号,e-mail address,テーマ,話題提供予定者(所属,会員・非会員の別),参加見込み人数,企画趣旨(400字程度)を記入の上,(財)日本学会事務センターにお申し込みください。申し込み期限は2003年1月31日(金)結果は2月下旬にご連絡します。

なお,使用機材は,ＯＨＰに限らせていただきます。会場の都合で,お申し込みに応えられない場合もありますので,あらかじめご了承ください。

プログラムに掲載されている非会員の話題提供者,指定討論者の方は,参加費は不要です。

【8】大会参加,研究発表などの申し込み要領

1. 研究発表申込期限: 2003年(平成15年)1月31日(金) 当日消印有効

大会参加のみの予約申込期限: 2003年3月31日(月)

2. 申し込み方法: 別紙の2連カードに必要事項を記入のうえ, 返信封筒にてお送りください。

3. 研究発表申込者は, 第2号通信用宛名シールに住所・氏名を明記のうえ120円切手を貼り, 返信封筒に同封してお送りください。

4. 研究発表および大会参加等の諸費用は, 表2のとおりです。

(1) 表2の大会参加費を納入された方すべてに, 論文集を1部配布いたします。

(2) 予約費払込の期限は2003年3月31日(月)です。同封の郵便払込取扱票を使って下記口座へ納入してください。

郵便振替: 東京 00130 - 2 - 52057
加入者名: 日本心理学会大会関係費

(3) 納入された費用は, 参加取消・発表取消等の場合も返却できませんのでご了承ください。

表2 大会諸費用

正会員:	大会参加・研究発表	12,000円
正会員:	大会参加・連名発表	12,000円
正会員:	大会参加	12,000円(予約) 13,000円(当日)
非会員連名発表者:	大会参加・連名発表	22,000円 (大会参加 12,000円 + 連名発表 10,000円)
非会員連名発表者:	連名発表	10,000円
非会員連名発表者:	大会参加	14,000円(当日)
臨時会員(一般):	大会参加	14,000円(当日)
臨時会員(学部生):	大会参加	7,000円(当日)
懇親会参加費	3,000円(予約)	4,000円(当日)
大学院・学部学生	2,000円(予約)	3,000円(当日)

* 臨時会員とは非会員で大会に参加する方です。

* 論文集に写真掲載を希望する場合は、1葉につき500円です。

* 非会員連名発表費は1人10,000円です。

5. 論文集の購入

(1) 昨年同様、大会期間中の会場での論文集販売はおこないません。

(2) 論文集の機関購入は、機関名(領収証等の宛名名義)、担当者、連絡先、部数等必要事項を明記の上、(財)日本学会事務センター事業部(FAX 03-5814-5822, e-mail sub@bcasj.or.jp)宛にお申込みください。なお、見積書・納品書・請求書が必要な場合は書式を付記してください。代金は7,350円(消費税込)プラス送料です。

6. 懇親会

懇親会は、大会第2日目、2003年9月14日(日)夕刻に行います。参加費は表2の通りです。多数の方々のご参加をお待ちしております。

なお、(社)日本心理学会会員以外で参加を希望される方は、大会受付にお申し出ください。

7. 学会年度会費

「2003年度会費」は、2003年3月31日(月)までに納入してください。年度会費の振替用紙は、(社)日本心理学会より2月頃送られます。年度会費を納入していない場合には、発表の資格を失うことがありますのでご注意ください。

【9】今後の通信予定

1. 第2号通信：研究発表申込者に「発表原稿作成要領」をお送りします(2003年2月中旬予定)。原稿提出締切日は2003年3月31日(月)です(当日消印有効)。

2. 第3号通信：全会員および非会員連名発表者に「大会プログラム」(2003年7月下旬予定)を、また、会員および非会員連名発表者のうち大会参加費を納入された方には「発表論文集」をお送りします(2003年8月中旬予定)。

【10】第67回大会に関する連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部心理学研究室内

日本心理学会第67回大会準備委員会

e-mail jpa2003@L.u-tokyo.ac.jp

FAX 03-5841-8969

電話 03-5841-3861

(準備委員会への連絡はなるべくe-mailまたはFAXでお願い致します)

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 (財)日本学会事務センター内

日本心理学会第67回大会係

e-mail ttsukada@bcasj.or.jp

電話 03-5814-5800

FAX 03-5814-5823

* 払込取扱票のご依頼人に書かれた住所に論文集を送付いたしますので、大会参加費納入後、住所変更をされた方は上記日本学会事務センターへもご連絡ください。

【11】その他

1. 大会会場内に託児室を設ける予定(有料, 予約制)です。詳しくは, 第3号通信(プログラム)でお知らせします。
2. 日本心理学会第67回大会のホームページ(<http://www.L.u-tokyo.ac.jp/jpa2003/>)で, 大会関係の最新情報を随時提供しております。
3. 大会当日, 書籍・機器の展示が行われます。

学会入会, 住所変更, 年度会費等に関する連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル7F

(社)日本心理学会 事務局

電話 03-3814-3953

FAX 03-3814-3954

入会申込書が必要な方は, 90円切手を貼った返信用封筒を同封して請求してください。